

令和元年6月7日

1. 出席議員

1 番	中 村	日出代	9 番	勝 屋	弘 貞
2 番	池 田	廣 志	10 番	伊 東	茂
3 番	高 松	昭 三	11 番	松 尾	勝 利
4 番	杉 原	元 博	12 番	徳 村	博 紀
5 番	樋 口	作 二	13 番	福 井	正
6 番	中 村	和 典	14 番	松 尾	征 子
7 番	中 村	一 堯	15 番	松 田	義 太
8 番	稲 富	雅 和	16 番	角 田	一 美

2. 欠席議員

な し

3. 本会議に出席した事務局職員

事 務 局 長	谷 川	清 高
事 務 局 長 補 佐	高 本	将 行
議 事 管 理 係 長	小 野 原	竜 久

4. 地方自治法第121条により出席した者

市	長	樋	口	久	俊
副	市長	藤	田	洋	一郎
教	育	中	村	和	彦
総	務	大	代	昌	浩
総	務	納	塚	眞	琴
市民部長兼福祉事務所長		橋	村	直	子
産	業	土	井	正	昭
建	設	寺	山	靖	久
会計管理者兼会計課長		中	島		剛
総	務	岩	下	善	孝
総	務	江	頭	憲	和
人権・同和对策課長		江	口	清	一
企画財政課長兼選挙管理委員会事務局参事		田	崎		靖
企画財政課参事兼選挙管理委員会事務局長		川	原	逸	生
市	民	梶	山	照	之
税	務	山	口	徹	也
保	険	中	村	祐	介
福	祉	染	川	康	輔
産	業	江	島	裕	臣
商	工	藤	家		隆
農	林	下	村	浩	信
農業委員会事務局長		田	中	宏	幸
都	市	山	浦	康	則
都	市	藤	井	節	朗
環境下水道課長兼ラムサール条約推進室長		田	代		章
水	道	広	瀬	義	樹
教育次長兼教育総務課長		山	崎	公	和
生涯学習課長兼中央公民館長		幸	尾	か	おる

令和元年6月7日（金）議事日程

開 会・開 議（午前10時）

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 議案の一括上程（市長の提案理由説明）
-

午前10時 開会

○議長（角田一美君）

おはようございます。ただいまから鹿島市議会令和元年6月定例会を開会いたします。
開議に先立ちまして申し上げます。

執行部におきましては、環境負荷の軽減、職員の公務能率の維持向上を図るために、5月1日から10月31日までの期間については、特別の場合を除いてノー上着、ノーネクタイの推奨に取り組んでおられます。議会には先例等申し合わせ事項で議会における服装についての規定がありますが、本定例会においては、議場ではノーネクタイのクールビズ対応としたいと思います。

なお、上着の脱衣については個人の裁量に任せたいと思います。

それでは、議事に入ります。日程はお手元の議事日程どおりといたします。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（角田一美君）

日程第1. 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に、4番杉原元博議員、5番樋口作二議員、6番中村和典議員、以上3名を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（角田一美君）

次に、日程第2. 会期の決定を議題といたします。

今期定例会の会期は、お手元の会期日程（案）のとおり、本日から6月25日までの19日間といたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（角田一美君）

御異議ないものと認めます。よって、会期は19日間と決定いたしました。

この際、事務局長をして諸般の報告をいたさせます。谷川事務局長。

○議会事務局長（谷川清高君）

諸般の報告をいたします。

本日招集の6月定例会に市長から報告4件、議案6件の提出がありました。

報告事項、議案番号及び議案名は、配付しております議案書の目次に記載のとおりであります。

次に、監査委員から、平成30年度定期監査結果の報告、平成30年度3月分の出納検査結果の報告がありましたので、その写しをお手元に配付いたしております。

以上で諸般の報告を終わります。

日程第3 議案の一括上程（市長の提案理由説明）

○議長（角田一美君）

次に、日程第3．議案の一括上程であります。

報告第1号から報告第4号までの報告4件及び議案第45号から議案第50号までの6議案を一括上程いたします。

市長の提案理由の説明を求めます。樋口市長。

○市長（樋口久俊君）

皆さんおはようございます。昨夜来からの激しい雨もどうやら峠を越したようでございます。

それでは、本日ここに鹿島市議会令和元年6月定例会を招集し、諸案件につきまして御審議をお願いするものでございますが、議案の提案に先立ちまして、鹿島市を取り巻く最近の情勢や今後の主要な施策について申し上げます。

御承知のとおり、先月1日、元号が改められ、時代は平成から令和へと新しい時代を迎えました。多くの方が新しい時代に期待を抱きながら令和を迎えられたことと思います。鹿島市におきましても、53年にわたり市民に親しまれてきた市民会館が、その歴史に幕をおろし、いよいよ今年度から新しい市民会館の建設に向けて具体的な設計に入るところでございますし、市議会におかれましても、さきの市議会議員選挙によりまして新しい構成での市議会がスタートされるなど、新時代の幕あけと同調するように、新たな段階へと歩みを進めているところでございます。市民の皆さんにとりまして、鹿島市において暮らす令和の時代がよりよい時代となりますように、私ども行政と議会がともに手を携えて、市民の皆様とともに、これからも鹿島市のまちづくりを進めていかなければならないと考えております。

さて、私は就任当初から、鹿島に埋もれている地域資源を掘り起こし、さらに磨きをかけ、まちづくりに生かしていくと申し上げてきました。先月15日には、鹿島市浜町の永溪山泰智寺と鹿島市音成の中村與右衛門屋敷が保存と活用に対して支援を受けることのできる県遺産として新しく認定されました。これはまさしく、地域の皆さんや関係者の皆さんが地域資源に磨きをかけて地域活性化に取り組んでこられた努力が実を結んだものだと思っております。

時代が移り変わる中でも、先人たちから脈々と受け継がれてきた鹿島市の豊かな自然や風

土、歴史や文化、ものづくりの力などの地域資源は地域の宝でございます。これらの地域資源を後世へと伝えながらまちづくりに生かしていくことが、魅力あるまちづくりを実現していく上で根幹をなすものであると考えております。

本市の地域資源をいかに磨き上げ、鹿島の魅力を県内外に伝え、少しでも多くの方に鹿島ファンになってもらうという意味では、先月19日に開催いたしました『大河ドラマ「いだてん」トークツアー in 佐賀県鹿島市』は大きな効果があったものと考えています。

このトークツアーが実現したのは、スポーツ資源を生かしたスポーツ合宿の誘致の取り組みにより、毎年、本市で多くの箱根駅伝の常連校が合宿をしていることが背景にあります。金栗四三さんは、箱根駅伝を創設したと言われている人物でございます。その箱根駅伝創設者と箱根駅伝大学合宿地という箱根駅伝のつながりにNHKや佐賀県が興味を持たれて、大河ドラマの中で金栗四三役である中村勘九郎さんなど、箱根駅伝に関係する3人の出演者によりトークツアーが実現をしたところでございます。

このように、大河ドラマの主役が佐賀県内においでいただくのは初めてのことということもあり、当日は、県内外から、遠くは関東から実に750人ものお客様に来ていただき、会場である祐徳稲荷神社の参集殿は熱気にあふれ、立ち見が出るという大盛況でございました。

今回のイベントは、佐賀県も主催者になっていたことでおわかりいただけるように、単なるトークショーではなくて、出演者や御来場された皆様に鹿島のファンになっていただくことが一番の目的でもございました。私もトークショーの前にお客様に向け、箱根駅伝と鹿島のつながりや鹿島市のPRを行ったり、開演までの待ち時間や終了後に、本市の観光スポットをめぐっていただけるようなパンフレットや祐徳観光商店連盟の皆さんの協力によりグルメマップ等の配布を行うなど、鹿島の魅力を伝えられるようなおもてなしを行ったところでございます。これを機に、また鹿島市に来ていただけることを期待しているところでございます。

今回、御協力いただいた祐徳神社を初め関係者の皆様には、この場をおかりしまして厚くお礼を申し上げます。

今後も、鹿島らしい、鹿島ならではの施策を展開し、第六次鹿島市総合計画に掲げております鹿島市が目指す都市像「みんなが住みやすく、暮らしやすいまち」の実現に向けて進めてまいりたいと考えております。

次に、ゲストハウスについて申し上げます。

本年4月に、肥前浜駅前通りと肥前浜宿の酒蔵通り沿いに歴史的な建物を生かしたゲストハウス「まる」と「あんど」の2棟がオープンをいたしました。このゲストハウスは、地元の皆様を中心に設立された肥前浜宿まちづくり公社が国の地域経済循環創造事業交付金を活用され完成した施設で、観光客の滞在時間や消費を拡大し、交流人口の増加や地域活性化を促進させるため、地域の皆様が待ち望まれていた宿泊施設でございます。

私も実際に見せていただきましたが、「まる」はかつての老舗旅館の趣を残したゲストハウスで、片方、「あんど」は2階が民泊スタイルの女性専用のゲストハウス、そして1階は、そばやおつまみに合わせ、市内の酒蔵の日本酒が誰でも気軽に楽しめる飲食施設となっており、女性や外国人の皆様にも安心して楽しんでいただけるような施設となっております。

オープン直後の大型連休期間には、県内外から40人を超えるお客様が宿泊をされたと聞いております。これらのゲストハウスを拠点に、新たな交流やにぎわいを生み出して、地域の産業や経済の活性化がさらに図られることを期待しているところでございます。

次に、街なみ環境整備事業で取り組んでおります肥前浜駅前広場について申し上げます。

これまで平成29年度に県事業で肥前浜駅の駅舎改修工事が行われ、平成30年度には佐賀大学との共同研究で、駅前広場の景観整備に向けた構想・設計に取り組んでまいりました。構想に当たっては、地元へのヒアリングや説明会を行いながら、市と佐賀大学、そして地元が一体となって、利用者が安全に、そして利用しやすい空間づくりを目指して検討を重ねてきたところでございます。

いよいよ今年度からは駅前広場の整備工事に着手をすることになりますが、最近では、観光列車の運行や外国人観光客も増加傾向にあり、先ほど申しましたように駅前には歴史的な建物を生かした宿泊施設もオープンするなど、肥前浜宿に新たなにぎわいが生まれつつあります。

こうした動きの中で、駅前整備においては、肥前浜宿の歴史的な町並みの玄関口としてふさわしい景観整備が求められており、その期待に応えられるよう引き続き取り組んでまいります。

次に、干潟交流館の活用について申し上げます。

今年4月13日に道の駅鹿島にオープンしました干潟交流館「なな海」という施設は、新しい観光の拠点として、また、有明海の自然を学ぶ拠点として、市民の皆様と協働しながら開かれた親しまれる施設を目指しております。

そのためには、まずは市民の皆様にご覧いただき、そして愛着を持っていただける施設になるよう、実際に水族館に来て業務の手助けをしていただくボランティアスタッフの仕組みを立ち上げたところでございます。

そして、集客促進と地域活性化を図るため、毎月1回、親子参加型のイベントを行っており、参加いただいた方が実際に生き物を採取して水族館に展示したり、有明海の潮の流れについて調査を行ったりと、親子で有明海や干潟に興味を持っていただくような内容となっております。

また、市内の全小学校を対象に環境教育プログラムを実施し、干潟の生き物を観察したり、干潟の働きを学んだりすることによって、干潟の役割や重要性を学べる授業を行う予定でございませう。

さらに、修学旅行生や観光客の皆様には、体験型教育プログラムとして干潟体験後の環境教室も行っております。

このように、ここでしか体験できない企画やプログラムを実施し、干潟交流館が有明海や干潟をテーマとした全国で唯一の施設として、全国の皆様にはPRを行い、交流人口の増加につなげていきたいと思っております。

次に、放課後児童クラブの整備について申し上げます。

現在、本市の放課後児童クラブは市内の全小学校で実施し、ここ数年は利用児童数が年々増加をしているところでございます。

このような中、本年4月から待機児童対策として、新たに明倫小学校音楽室を放課後に借用してクラブを開設しているところでございます。

また、現在、学校敷地外で実施をしている北鹿島小学校の放課後児童クラブにつきましては、子供たちの安全面を考慮して、今年度、学校敷地内に新たな施設を建設することとしております。

若い世代の皆さんが安心して働き、子育てができる環境をつくることは、第六次鹿島市総合計画の柱の一つでございます。今後も放課後児童クラブの充実に努めてまいりたいと考えております。

最後に、子どもの医療費助成の拡充について申し上げます。

本年4月より、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもの医療費助成の対象を高校生等の入院まで拡充したところでございます。

子育て世帯を支援する医療費助成は、人口減少や少子化に歯どめをかける一つの施策であり、疾病の早期発見と治療を促進し、子供の健やかな成長を図ることを目的としております。今後も、安心して子供を育てられるまちづくりの実現に向けて、引き続き子育て支援の充実に取り組んでまいります。

以上、6月定例会の開会に当たりまして、鹿島市を取り巻く最近の情勢や今後の主要な施策について申し上げます。今後とも、議会の皆様、市民の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

それでは、提案いたしました案件につきまして、その概要を説明いたします。

議案は、報告が4件、新規条例制定が1件、条例改正が3件、補正予算が1件、その他1件の合計10件でございます。

初めに、報告第1号 平成30年度鹿島市一般会計繰越明許費繰越計算書、報告第2号 平成30年度鹿島市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書、報告第3号 平成30年度鹿島市水道事業会計予算繰越計算書について申し上げます。以上3件につきましては、平成30年度の予算執行段階で諸般の事情により予算の一部を令和元年度に繰り越して使用することといたしましたので、それぞれの関係法令の規定に基づき報告をいたすものでございます。

続きまして、報告第4号 平成31年度鹿島市土地開発公社事業計画について申し上げます。

鹿島市土地開発公社の経営状況につきましては、地方自治法第243条の3第2項の規定により、平成31年3月に開催された公社理事会における決定を経て承認をいたしました——その文書がそのままそうとなっておりますが、平成31年度事業計画書の写しを提出し、報告をいたすものでございます。

続きまして、条例に関する議案4件について申し上げます。

まず、議案第45号 鹿島市森林環境譲与税基金条例の制定について申し上げます。

国において森林環境税及び森林環境譲与税が創設をされたことに伴い、本年度から森林環境譲与税が譲与されてまいります。この譲与税を森林整備などの事業に活用するため、基金の設置に関する条例を定めるものでございます。

続きまして、議案第46号 消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について申し上げます。

消費税法等の改正に伴い、市有施設の使用料について消費税等相当分を適正に転嫁させるために、条例で規定してあります各施設の使用料の額を改正するものでございます。

続きまして、議案第47号 鹿島市特別職の職員で非常勤のものの報酬並びに費用弁償支給条例の一部を改正する条例の制定について申し上げます。

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正に伴い、選挙長等の報酬額の改正を行うものでございます。

続きまして、議案第48号 鹿島市税条例等の一部を改正する条例の制定について申し上げます。

地方税法の一部改正に伴い、住宅借入金特別控除の拡充、個人住民税の非課税範囲の拡大、軽自動車税の種別割に係るグリーン化特例の設定など、所要の改正を行うものでございます。

続きまして、議案第49号 令和元年度鹿島市一般会計補正予算（第2号）について申し上げます。

今回の補正は、予算の総額に123,074千円を追加し、補正後の総額を14,106,621千円といたすものでございます。

歳入につきましては、今年度から新たに創設された森林環境譲与税や事業採択等による国県補助金の増のほか、コミュニティ助成事業助成金、基金繰入金などを計上いたしております。

歳出のうち主な事業としては、総務費では、コミュニティ助成事業のほか、昨年度まで実施をいたしていただきましたが未来スイッチ交付金事業の後継事業であるさが未来アシスト事業費補助金を計上いたしております。

民生費では、保育対策総合支援事業や幼児教育無償化実施円滑化事業を計上いたしております。

衛生費では風疹対策事業を、そして農林水産業費では森林環境譲与税を活用した森林経営管理事業を計上いたしております。

また、教育費では学校安全総合支援事業や給食センターの厨房施設整備事業を計上いたしております。

最後に、議案第50号 杵藤地区広域市町村圏組合規約の変更に係る協議について申し上げます。

杵藤地区広域市町村圏組合事務所が本年9月に武雄市の旧北方支所に移転することに伴い、杵藤地区広域市町村圏組合の規約変更について協議する必要があるため、地方自治法第290条の規定により議会の議決を求めるものでございます。

以上、提案いたしました議案の概要につきまして説明をいたしましたが、詳細につきましては、御審議の際、担当の部長または課長が説明をいたしますので、よろしく御審議をいただきますようお願いを申し上げます。

以上でございます。

○議長（角田一美君）

以上で本日の日程は終了いたしました。

明8日から12日までの5日間は休会とし、次の会議は6月13日、午前10時から開き、議案審議を行います。

本日はこれにて散会いたします。お疲れさまでした。

午前10時27分 散会